

新川を主とした景観整備を行うことで 「白水阿弥陀堂」を中心とした良好な空間を創出

いわき-9

内郷白水地区

いわき市

いわき建設事務所
計画期間：H22～H22

地域づくりの方針

文化や伝統、歴史的街並み等、地域資源を活用して創る魅力ある地域づくりということで、国宝「白水阿弥陀堂」周辺の環境保全と後世に継承する地域づくりを行います。

主な事業内容

子たちが河川とふれあうため、地域で清掃活動を行うため

新川に階段を設置

しました。



事業概要図



地域の現状

当該地区は、いわき市のほぼ中央に位置し、県内唯一の国宝「白水阿弥陀堂」、常磐炭坑発祥の地である「弥勒沢」やその資料館など歴史的・文化的資源に恵まれている地区であり、多くの観光客が訪れています。近年では「ヘリテージツーリズム」の活動も盛んに行われています。

地域活動においては内郷ふるさと振興協議会によるボランティアガイドや、内郷商工会のサイクリングイベント、阿弥陀堂前での物品の販売等、各種団体が地区の交流人口拡大に向け積極的に取り組んでいました。

平成21年度には、内郷地区の地域づくり団体である「内郷ふるさと振興協議会」、「内郷まちづくり懇談会」、「内郷地区明るく住みよいまちづくり振興会」が、新たに「内郷まちづくり市民会議」の設立をもって発展的解散に至りました。

また、平成22年度には、地域住民が主体となった「白水地区を元気にする会」が発足し、地域資源を活用したイベントが開催されています。

地域づくりのあゆみ

平成22年

- ・「内郷白水地区懇談会」を開催。ゴミ拾いや水質調査を実施。



元気づくりの立役者たち

県内唯一の国宝「白水阿弥陀堂」



常磐炭坑発祥の地である「弥勒沢」



地域の課題・今後の展望

- ・各種団体の活動が盛んで、地元地域、内郷ふるさと振興協議会、内郷商工会が個々に活動していたが、周辺の環境保全や国宝に相応しい地域として後世に継承していくため、これら団体が一つになった「白水地区を元気にする会」が発足し、「白水の四季まつり」等のイベントを開催している。

事業の効果

■期待される効果

・地域、地域づくり団体、商工会等が一体となって国宝「白水阿弥陀堂」周辺の景観について検討し、それに基づいた整備とすることで良好な空間が創出され、それらを後世に継承することができます。また、その空間は来訪者へ癒しを与えることができ、さらなる交流人口の拡大が図られます。

■新春の輝き祭

・住民手作りのイベントとして、阿弥陀堂前広場の砂利道などに、竹やペットボトルで作った灯籠400本を並べます

ペットボトル灯籠



願掛け



整備内容及び管理状況

親水施設整備(階段工)



施工前



施工後



施工前



施工後

利用状況

- 「がんばっぺ！内郷・白水！『輝き祭り』」に利用されました。

管理状況

- 現在、新川はうつくしまの川・サポート制度により、日常的な維持管理を地もとで行っている状況である。施設の整備後は、地域だけでなく、内郷ふるさと振興協議会や商工会等とも含めたサポート制度を締結し積極的な活用を含めた維持管理を行います。

関係機関

- 福島県いわき建設事務所企画調査課
- 内郷まちづくり市民会議
- 白水地区を元気にする会
- 内郷商工会(青年部、女性部)

TEL : 0246-24-6143